

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全施設等整備事業（自転車歩行者設置工事）				
地区名	一般県道 和合豊田線				
事業箇所	みよし市三好町				
事業のあらまし	<p>当該路線は、みよし市のほぼ中央を東西に横断しており、豊田市と名古屋市を結ぶ国道153号の南側に位置している。</p> <p>当該区間周辺には、三好高校、みよし市立三好中学校、南中学校、中部小学校、南部小学校があり、小中学校の通学路に指定されている。</p> <p>1工区（森下工区）は、三好森下交差点に右折車線が設置していないことから、右折待ちの車両が直進車を妨げ、激しい渋滞が発生している。また、視認性を低下させているため、通学児童を含む歩行者・自転車にも危険な状態となっている。</p> <p>2工区（打越工区）は、交通量の多い路線であるにも関わらず歩道が未整備であるため、歩行者・自転車が車道部を通行し非常に危険な状態となっている。</p> <p>自転車歩行者道及び右折車線を設置することで、危険通学路を解消し、歩行者・自転車の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>＜交通安全対策の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険通学路の解消 ○歩行者・自転車の安全性の向上 ○交差点円滑化・渋滞の軽減 <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時（H20）	再評価時（H26）	変動要因の分析	
	事業期間	平成20～24年度	平成20～31年度	用地取得難航による事業期間の延伸	
	事業費（億円）	8.5	8.5	変動なし	
	経費内訳	工事費	2.0	2.0	変動なし
		用補費	6.0	6.0	変動なし
その他		0.5	0.5	変動なし	
事業内容	交差点改良1か所を含む自転車歩行者道設置 L=805m W=16m 1工区 L=165m 2工区 L=640m	交差点改良1か所を含む自転車歩行者道設置 L=805m W=16m 1工区 L=165m 2工区 L=640m	変動なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間周辺には、小学校・中学校・高等学校があり、児童・生徒の通学路として使われているものの歩道が整備されておらず、歩行者及び自転車が車道部を通行し、また自動車交通量が約14,000台/日程度と多いことから、非常に危険な状態となっている。 ・三好森下交差点は、愛知県第4次渋滞対策プログラムにおいて対策の必要性が高い主要渋滞ポイントに選定されており、交差点円滑化・渋滞の解消を求められている。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路としての使用状況にほとんど変化はない。自動車交通量はほぼ横ばいの状況であり（約14,000台/日（H17センサス）⇒約13,000台/日（H22センサス））。死傷事故率（133.9件/億台キロ（H16－H19）⇒122.4件/億台キロ（H20－H23））や事故件数（26件/4年（H 			

		<p>16-H19) ⇒24 件/4 年 (H20-H23)) もまたほぼ横ばいであり、引き続き危険な状態が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三好森下交差点は、みよし市における通学路合同点検 (H25. 8. 26) で右折車線がないことによる無理な運転をする通行車両と歩行者の接触の危険性を指摘されるなど、交差点の改良が強く求められている。 ・混雑時旅行速度も 18.7 km/h (H17 センサス) →18.3 km/h (H22 センサス) <20 km/h (混雑の定義) とほぼ横ばいであり、交差点円滑化の必要性がある。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路などの周辺状況、交通状況に大きな変動はなく、歩行者・自転車の安全な通行の確保及び交差点円滑化の必要性に大きな変化はない。 																																																																																																																																																																																																											
	判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行の確保及び交差点円滑化の必要性に大きな変化がないため。 																																																																																																																																																																																																											
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="368 817 1447 1167"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1 工区</td> <td>工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>今回計画</td> <td>0.06</td> <td></td> <td></td> <td>1.31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.63</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.06</td> <td></td> <td></td> <td>1.31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2 工区</td> <td>工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>今回計画</td> <td>0.15</td> <td></td> <td></td> <td>0.58</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.15</td> <td></td> <td></td> <td>0.58</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>今回計画</td> <td>0.21</td> <td></td> <td></td> <td>1.89</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.63</td> <td></td> <td></td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.21</td> <td></td> <td></td> <td>1.89</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" data-bbox="368 1223 1147 1610"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>進捗率 【②÷①】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.81</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>8.50</td> <td>2.94</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>工事費</td> <td>2.00</td> <td>0.50</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>6.00</td> <td>2.1</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.50</td> <td>0.34</td> <td>68.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1工区は交差点西側の用地買収が完了し、一部区間において自転車歩行者道設置が完了している。 <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <p>—</p>			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1 工区	工種区分	調査・設計	←	→											用地補償	←	→											工事					←	→						事業費 (億円)	今回計画	0.06			1.31					1.63			0	実績	0.06			1.31									2 工区	工種区分	調査・設計	←	→											用地補償	←	→											工事	←	→							←	→		事業費 (億円)	今回計画	0.15			0.58					4			0.77	実績	0.15			0.58									合計	今回計画	0.21			1.89					5.63			0.77	実績	0.21			1.89										全体進捗状況			計画 【①】	実績 【②】	進捗率 【②÷①】	延長(km)	0.81	0	0%	事業費(億円)	8.50	2.94	34.6%		工事費	2.00	0.50	25.0%	用地費	6.00	2.1	35.0%	その他	0.50	0.34	68.0%
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																																																																																																																																																															
1 工区	工種区分	調査・設計	←	→																																																																																																																																																																																																									
		用地補償	←	→																																																																																																																																																																																																									
		工事					←	→																																																																																																																																																																																																					
事業費 (億円)	今回計画	0.06			1.31					1.63			0																																																																																																																																																																																																
	実績	0.06			1.31																																																																																																																																																																																																								
2 工区	工種区分	調査・設計	←	→																																																																																																																																																																																																									
		用地補償	←	→																																																																																																																																																																																																									
		工事	←	→							←	→																																																																																																																																																																																																	
事業費 (億円)	今回計画	0.15			0.58					4			0.77																																																																																																																																																																																																
	実績	0.15			0.58																																																																																																																																																																																																								
合計	今回計画	0.21			1.89					5.63			0.77																																																																																																																																																																																																
	実績	0.21			1.89																																																																																																																																																																																																								
	全体進捗状況																																																																																																																																																																																																												
	計画 【①】	実績 【②】	進捗率 【②÷①】																																																																																																																																																																																																										
延長(km)	0.81	0	0%																																																																																																																																																																																																										
事業費(億円)	8.50	2.94	34.6%																																																																																																																																																																																																										
	工事費	2.00	0.50	25.0%																																																																																																																																																																																																									
	用地費	6.00	2.1	35.0%																																																																																																																																																																																																									
	その他	0.50	0.34	68.0%																																																																																																																																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要しているため、事業が長期化している。 																																																																																																																																																																																																												

③事業の効果の変化	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得が難航しているが、地元及びみよし市の自転車歩行者道設置に強い要望があり、事業への反対でないことから、一定期間を要すれば用地取得できると考える。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き用地交渉を進め、平成31年度の事業完了を目指している。 	
	判定	B	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
			<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉に時間を要することが想定されるが、引き続き用地交渉を進めることによる平成31年度の事業完了が見込まれるため。
1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】</p> <p>—</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、局所的な交通安全施設等整備事業であり、交通量推計条件の変化の考慮が困難な事業のため、算定不可とした。 <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】</p> <p>—</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>		
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・貨幣価値化困難な効果としては「事故多発箇所での事故数削減」「交通弱者に対する安全性の向上」「自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上」「主要な渋滞個所の渋滞緩和」がある。 <p>また、「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」による評価地は事業採択時が 0.75、再評価時が 0.67 となっている。</p>		

【事業採択時の状況】

		貨幣価値化可能な効果 評価基準表		
達成目標 (建設部方針)	評価 対象 の判断	評価項目	基礎点	得点
1 安心・安全	①交通安全 対策の推進	<input type="checkbox"/> a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1
		<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3	2
		<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2	
		<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1	
合計			9	6
2 連携力・地域力	⑦渋滞のないスムーズな移動空間の提供	<input type="checkbox"/> a) 主要な渋滞箇所の渋滞の緩和が期待できる	MAX3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 渋滞対策プログラムに位置付けられた渋滞交差点、又はボトルネック踏切の渋滞緩和に資する事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 環状道路の整備又は公共交通機関の利用促進(交通結節点・バス路線の渋滞緩和等)に資する事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> 渋滞損失時間の県内上位区間(県平均値以上)の区間における渋滞緩和に資する事業に該当する	1	
		合計		
総合計			12	9
評価値			0.75	

【再評価時の状況】

		貨幣価値化可能な効果 評価基準表		
達成目標 (建設部方針)	評価 対象 の判断	評価項目	基礎点	得点
1 安心・安全	①交通安全 対策の推進	<input type="checkbox"/> a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1
		<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3	2
		<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2	
		<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1	
合計			9	6
2 魅力・地域力	⑦渋滞のないスムーズな移動空間の提供	<input type="checkbox"/> a) 主要な渋滞箇所の渋滞の緩和が期待できる	MAX3	2
		<input type="checkbox"/> 渋滞対策プログラムに位置付けられた渋滞交差点、又はボトルネック踏切の渋滞緩和に資する事業に該当する	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 環状道路の整備又は公共交通機関の利用促進(交通結節点・バス路線の渋滞緩和等)に資する事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> 渋滞損失時間の県内上位区間(県平均値以上)の区間における渋滞緩和に資する事業に該当する	1	
		合計		
総合計			12	8
評価値			0.67	

※道路・街路事業の事業評価マニュアル(平成25年3月 愛知県建設部都市整備課・道路維持課・道路建設課)による。

		<p>【変動要因の分析】</p> <p>「事故多発箇所での事故数削減」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時：死傷事故率 133.9 件/億台キロであり、得点「1」 ・再評価時：死傷事故率 122.4 件/億台キロであり、得点「1」 <p>「交通弱者に対する安全性向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時：通学路が含まれており、得点は「3」 ・再評価時：通学路が含まれており、得点は「3」 <p>「自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時：本事業区間は 3 種道路で自動車交通量は 14,000 台/日程度（H17 センサス）であり、得点は「2」 ・再評価時：本事業区間は 3 種道路で自動車交通量は 13,000 台/日程度（H22 センサス）であり、得点は「2」 <p>「主要な渋滞箇所の渋滞の緩和」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時：渋滞対策プログラムに位置付けられた渋滞交差点であり、得点は「3」 ・再評価時：公共交通機関の利用促進（バス路線の渋滞緩和）に資する事業であり、得点は「2」
判定	A	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貨幣価値化困難な効果について、事業採択時、再評価時ともに評価地が基準の 0.6 を超えており、事業着手時とほぼ同様の事業効果が見込まれるため 	
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p><input type="checkbox"/>対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険通学路の解消状況 ・事業区間における歩行者及び自転車の通行に係る安全性の改善状況 		
V 事業評価監視委員会の意見		
交通安全対策事業（一般県道和合豊田線）の対応方針（案）[事業継続]を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		